

ひた

広報ひた
No.1100

2015
2.1



CONTENTS もくじ

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 02 平成27年日田市成人式 | 24 咸宜園コラム |
| 06 税の申告 | ／食生活改善推進員さんのおすすめレシピ |
| 08 市政情報ピックアップ | 25 図書館に行こう |
| 10 暮らしの情報／人権コラム | 26 2月のお誕生日おめでとう |
| 14 ふるさと納税「水郷ひた応援基金」の寄附状況と使い道 | ／児童館・支援施設の2月の主な催し |
| 16 被災地で感じた復興への思い | 28 天領日田おひなまつり |
| 22 まちの話題 | 豆田地区の交通規制 |
| | ／市長コラム |

表紙

平成27年日田市成人式

1月11日、パトリア日田で日田市成人式が行われ、原田啓介市長から各地区の代表者に成人証が渡されました。

西有田地区からは、松本結衣さんが代表で登壇し、成人証を受け取りました。



1.式典の司会を務めた伊藤真司さん(光岡地区)と平川里緒さん(咸宜地区)
/2.ピアノ演奏を行った河津保奈美さん(桂林地区)
/3・4.地区代表で成人証を受け取る杉森のえさん(日隈地区)、吉田渉馬さん(東有田地区)
/5.ステージ発表で剣舞を披露した樋下貴大さん(朝日地区)



6.市民憲章を朗読した泉楓香さん(三芳地区)と新川丈一朗さん(五和地区)
/7.パトリア前は多くの新成人でにぎわった/8・9・10・13.久しぶりに会った友人たちと写真を撮る姿が多く見られた/11・12.集合写真の撮影風景(咸宜・西有田地区)



夢と希望を抱き
747人が大人への仲間入り

晴天の1月11日、新成人の門出を祝う成人式がパトリア日田で開催されました。式典には対象者の90%にあたる673人が市内外から出席。人生の大きな節目を迎え決意を新たにしました。原田啓介市長は「日田市に生まれたことに誇りを持ち、それぞれが未来に、夢と希望を抱き、その夢に向かってまい進されることを期待します」と式辞を述べました。

その後、新成人の名前が呼ばれ、各地の代表者に成人証が手渡されました。

色とりどりの振り袖や真新しいスーツなどに身を包んだ新成人たちは、式典終了後も友との再会を喜び合い、旧交を深めていました。



二十歳の決意発表



吉村真奈さん
(光岡地区)



梶原爽希さん
(前津江地区)



河津祥太さん
(天瀬地区)

新成人に聞いた 二十歳の 抱負

※ () 内は地区名



古田貴啓さん
(上津江地区)



穴井果歩さん
(天瀬地区)



熊谷祐二さん
(三花地区)



宮崎三夏子さん
(高瀬地区)



川村雄飛さん
(中津江地区)



上山智也さん
(上津江地区)



坂口 葵さん
(高瀬地区)



恒藤諒司さん
(三花地区)



矢野祐樹さん
(大山地区)



矢羽田美奈さん
(三花地区)



飯田弥央さん
(日隈地区)



湯浅優希さん
(天瀬地区)



森山悠也さん (桂林地区)

東京に進学した今、私が思うのは、この自然豊かで人情あふれる、日田という町で生まれ育って本当に良かったということです。少年時代に何気なく駆け回っていた野山やきれいな川、そしていつもどこかで見守ってくれた家族や友人の温かみが、故郷を離れた今になって、かけがえのない財産だということに気づきます。日田という魅力あふれる町を誇りに思い、伝えていけるよう、立派な「大人」として社会で活躍していくことが、日田への恩返しではないかと思えます。

私は、この秋から、東京大学で化学を専攻することが決まりました。高校時代では将来やりたいこともなく、漠然とサイエンスが好きだという思いで進学した私ですが、一年間大学で様々な教養に触れ、自身の人生を決める大きな選択をすることができました。そのような意味でも、この成人の年は私にとって大きな節目の年です。

化学といえば、今年はノーベル賞に青色発光ダイオードを開発した赤崎勇さんたち三人の日本人が選ばれました。近年白熱電球に代わって使われるようになったLEDに応用することで、完全な白色を作り出すことができたようになったというのが受賞の理由です。赤崎さんたちは、それまで誰も成功したことがなく、他のどの研究者もあきらめていた方法を粘り強く研究して、青色発光ダイオードの開発を成功させたそうです。そのような忍耐力、向上心の強さが、今この便利になった現代社会で二十歳を迎える私たちに必要なものではないでしょうか。私は「大人になる」ということは社会に責任を持つこと、社会を自分たちの手でより良いものに変えていける力を持つことだと思います。新成人として、常に向上心をもって未来を見据えていくことのできる人間を目指したいと思えます。

今日、こうして成人式を迎えられたのは、二十年間支えてくださった両親や家族、ご指導くださった先生方、ともに歩んできた友人たちのおかげです。特に両親の感謝は一言では言い表せません。いつも私がやってみようと思ったことをのびのびとさせてくれた両親。その中で多くの挫折や成功といった経験が、今の私の血肉となってここにあるのだと思います。この感謝の気持ちを忘れずに、成人としての決意をしかと胸に抱いて生きていくことを誓います。

本日、ここにいる私たちが晴れて成人を迎えられたのは家族、友人、地域の方々、私たちに関わっていただきました皆さまの温かい支えがあったからこそだと深く感謝申し上げます。

私たちは今、社会という新たな環境に一步踏み出そうとしています。今までとは違い、これからは自分自身で考え行動し、自身で責任を負っていかねばなりません。社会人一年生として、皆様方のお仲間入りをさせていただくことに喜びを噛みしめると同時に、今後の責任の重大さを痛感しております。

成人としての自覚を新たに、社会人として法律、規則、マナーを守ることはもちろん、一人の人間として相手を尊敬し、思いやる気持ちを大切に、自分をしっかり持ち、前に進んでいきたいと思えます。

私は、住み慣れたこの自然豊かで人の温かみのある日田市で、人の役に立つ職業に就きたいという目標に向かい、社会人として一步を踏み出します。しかし、まだまだ未熟なため、先生方にご指導をいただきながらたくさんの方の学び経験し、社会に貢献できるよう日々、精進してまいります。

本日の決意と両親への感謝の気持ちを忘れず、これから出会う人々との関わりを大切に、やさしく、たくましく生きていくことを誓います。



甲斐 恵さん (咸宜地区)

※文章は要約しています。

申告相談会の日程・会場

各振興局・地区公民館で申告相談会を開催します。
市県民税の申告書を提出する人や申告書は送られてきていないが申告する必要がある人、
その他申告に関する相談のある人は、必要な書類等を持参の上、お越しください。
※時間帯にご注意ください。

	2月 9日(月)	10日(火)	12日(木)	13日(金)	16日(月)
上津江振興局（2階会議室）	10:00～16:00				10:00～16:00
中津江振興局（3階大会議室）				10:00～16:00	10:00～16:00
前津江振興局（1階会議室）			10:00～16:00		
大山振興局（3階301会議室）			10:00～16:00		
天瀬振興局（本庁舎3階会議室）	10:00～16:00			10:00～16:00	
天瀬公民館東溪分館		10:00～16:00			
天瀬公民館五馬分館		10:00～16:00			

	2月 17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)
東有田公民館	9:00～12:00			
西有田公民館	13:30～16:30			
五和公民館	10:00～16:00			
大鶴公民館		9:00～12:00		
夜明公民館		13:30～16:30		
高瀬公民館		10:00～16:00		
小野公民館			9:00～12:00	
三花公民館			13:30～16:30	
三芳公民館			9:00～12:00	
若宮公民館			13:30～16:30	
朝日公民館				9:00～12:00
光岡公民館				13:30～16:30
日隈公民館				10:00～16:00

※申告相談会では市県民税の申告相談を行っています。所得税の「確定申告書」（税務署提出用）で記入要領等が分からない場合は、日田税務署又は市役所7階中会議室（開催期間2月16日～3月16日）でお尋ねください。

休日相談会を2月8日(日)・15日(日)
(午前9時～午後4時)に市役所
1階税務課市民税係で行います。
お気軽にお越しください。

咸宜、桂林、田島地区
の人は、随時、市役所
1階税務課市民税係に
お越しください。

平成27年度

税の申告

市は所得や控除の申告が必要と思われる人に、市県民税の申告書（兼国民健康保険税・介護保険料申告書）を郵送します。
申告書が届いた人は、必ず提出してください。

申告受付期限 **2月27日(金)まで**

税務課市民税係
☎②8396（市役所1階）

提出場所 市役所1階税務課市民税係

窓口受付時間 平日の午前8時30分～午後5時

※農業所得があり、農業所得用の収支内訳書が送付された人は、申告書と一緒に同封して提出してください。
※申告書は郵送でも受け付けます。申告書に同封している返信用封筒で提出してください。

申告に必要なもの

- 印鑑
- 平成26年中の所得が分かるもの 給与・年金の源泉徴収票、給与明細書、事業主の証明書、収支内訳書など
- 領収書、支払証明書（原本が必要） 社会保険料（国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・国民年金など）や生命保険料、地震保険料など
- 医療費の領収書、保険金などで補てんされた金額が分かるもの 医療費控除の適用を受ける人
- 障害者手帳、療育手帳などの証明書 障害者控除の適用を受ける人

市県民税の申告書は1月30日付けで送付しますが、前年に所得税の確定申告をした人や職場から市に給与支払報告書が提出された人には送付しません。全市民に申告書が届くわけではありませんので、ご注意ください。

申告が必要な人で申告書が届かない場合は、税務課の窓口又は申告相談会にお越しください。

所得税の確定申告はお早めに

■受付期間
2月16日(月)～3月16日(月)（土・日曜日を除く）
午前9時～午後4時

■受付場所 市役所7階中会議室

※所得税の確定申告には、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）の「確定申告書等作成コーナー」を利用すると便利です。

☎日田税務署 ☎③2136

申告が必要な人

平成27年1月1日現在、市内に住所がある人で次に該当する人は、申告が必要です。

- ① 事業所得（営業、農業）がある人、不動産所得がある人
- ② 給与所得者で次に該当する人
・ 勤務先から市に給与支払報告書が提出されていない人
・ 平成26年中に退職した人で、年末調整が済んでいない人、所得税の確定申告をしない人
・ 給与所得以外に他の所得がある人（給与以外の所得が20万円以下で所得税の確定申告をする必要がない人でも市県民税の申告が必要です）
- ③ 給与所得者や年金受給者で、社会保険料控除・生命保険料控除・地震保険料控除・扶養控除・医療費控除・寄附金控除・雑損控除等を市県民税の申告書で申告する人
- ④ 平成26年中に日田市に転入した人

※詳細は、市ホームページをご覧ください。
市ホームページは、税務課市民税係又は申告相談会場でお問い合わせください。

所得がなくても国民健康保険や後期高齢者医療保険に加入している場合、所得に関する証明書が必要な場合（年金、児童手当、公営住宅、奨学金などの手続）は、申告が必要です。



お知らせ

PM2.5の注意喚起を行います

【問合せ】環境課水・環境係 ☎②8357



PM2.5の濃度は、冬季から春季にかけて高くなる傾向があります。数値が基準を超えた場合、市では、防災無線・防災メール・市ホームページ・テレビ（水郷TV及びKCV）で注意喚起を行います。

▶注意喚起の判断基準

- ・午前5時、6時、7時の1時間値の平均値が85 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるとき
 - ・午前5時から正午までの1時間値の平均値が80 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるとき
 - ・午後1時以降は午前5時から各時間帯までの1時間値の平均値が70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるとき
- ※平成26年12月16日から大分県の判断基準が変更になりました。

▶PM2.5（微小粒子状物質）とは

大気中に浮遊している粒子のうち、大きさが2.5 μm （1 μm =1mmの1,000分の1）以下の非常に小さな粒子（髪の毛の太さの30分の1）のことで、PM2.5は非常に小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系への影響に加え、循環器系への影響が心配されています。

▶注意喚起が実施されたときの対応

- ・屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らしましょう。
- ・屋内においても換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。
- ・呼吸器系や循環器系の疾患がある人、小児、高齢の人は体調に応じて、より慎重に行動しましょう。

▶ひた防災メール

PM2.5のほか、気象警報や災害情報、避難情報等をメールでお知らせします。

hitacity@jijo.bosai.info宛て

（右記の二次元コードからアドレスを読み取ることができます）に空メールを送信し、返信されたメールから登録してください。



お知らせ

森から川、そして有明海へ ～筑後川との新たな向き合い方を探る～

【問合せ】環境課水・環境係 ☎②8357

ひた市民環境会議「水と森部会」では、河川環境をテーマに、6年前から「水郷ひた」の清流復活運動に携わる佐賀大学名誉教授の荒牧軍治氏を招いた環境講演会を開催します。皆さん、是非お越しください。

▶とき 2月19日(木)
午後6時30分～8時30分

▶ところ
市役所7階大会議室

▶講師
荒牧軍治氏
1943年生まれ。佐賀大学名誉教授、嘉瀬川防災施設さが水ものがたり館館長。NPO法人有明海再生機構理事長、NPO法人有明海ぐるりんネット代表理事、NPO法人嘉瀬川交流圏理事長。



お知らせ

発達障がい講演会 地域療育セミナーオープン講座

【問合せ】社会福祉課障害福祉係 ☎②8290

発達障がいとは、脳機能の発達に関する障がいであり、障がいのある人は他人との関係づくりやコミュニケーションなどが苦手です。しかし、優れた能力が発揮される場合もあり、社会の中で自立していくために周囲の理解が必要です。

▶とき
3月1日(日) 午前10時～正午
(午前9時30分から受付)

▶ところ 市役所7階大会議室

▶演題・講師
「発達障がいの理解について～大分県の現状とこれからの支援について～」
大分県発達障がい者支援センター
E COAL（イコール）
副センター長 田中秀征氏

募集

臨時職員を募集

【問合せ】総務課職員係 ☎②8392

市では、市役所の臨時職員を募集します。

職種	採用予定者数	必要な資格・技能	雇用期間	必要書類
一般事務	各30人程度	基本的なパソコン操作ができる人	4月～ 平成28年3月	履歴書
学校連絡員				
看護師	若干名	看護師、准看護師いずれかの資格を有する人		履歴書及び 資格証の写し
レセプト点検事務		病院等で医療事務の経験がある人		
介護認定調査員		保健師、看護師、准看護師のいずれかの資格を有する人		
調理員		調理師の資格を有する人		
学校図書司書	司書の資格を有する人			
保育士	保育士の資格を有する人			

▶申込方法 必要書類を総務課職員係（市役所4階）に提出してください。

※書類提出時に面接を行います。（事前の連絡の必要はありません）

▶提出期間 2月2日(月)～13日(金)（平日の午後1時～5時）

お知らせ

第35回日田おおやま梅まつり

【問合せ】大山まつり実行委員会事務局
☎③3101

約1万本の梅の花が咲き誇ります。一足早い春の訪れを満喫してください。

期間中は、火祭りや梅園散歩ウォッチング、フォトコンテストなどが行われます。

▶開催期間
2月15日(日)～3月15日(日)

おおくぼ梅園イベント

3月1日(日)
午前10時～
梅娘認証式、豊作祈願祭、式典、餅まき、アトラクション、野点、緑化木無料配布、出店ほか
〈アトラクション出演団体〉

大山小学校、烏宿太鼓クラブ、大山ジュニアマーチングバンド、大山中学校吹奏楽部、日田祇園囃子なでしこ会、前津江浦和太鼓、ケイ・リノ パーフラ（フラダンス）

ふるや台梅園イベント

3月8日(日)
午前11時～
開会行事、アトラクション（日田三隈高校ギター・マンドリン部ほか）、緑化木無料配布、出店ほか



お知らせ

不動産を公売します

【問合せ】税務課納税係 ☎②8205

市では、差押えした不動産を公売します。（公売とは、差押えした財産を入札やせり売りで売却し、その代金を税に充てることをいいます）
公売には原則としてどなたでも参加できます。

- ▶公売及び入札の期日
3月2日(月) 午前10時～10時30分
- ▶公売及び入札の場所 市役所1階101会議室
- ▶開札の日時 3月2日(月) 午前10時35分
- ▶公売物件
土地（山林・公衆用道路）
- ・所在 日田市大字堂尾字ヲサキ110番8（持分6分の1）
- ・所在 日田市大字堂尾字ウソガサコ126番3
- ・所在 日田市大字堂尾字ウソガサコ126番4（持分6分の1）
- ・所在 日田市大字堂尾字ウソガサコ126番6
- ▶入札時に必要な物
①公売保証金②印鑑（法人の場合には代表者の印鑑）③委任状（代理人が入札する場合）④法人が入札に参加する場合は代表権限を証する書類（法人登記簿等）
- ▶公売物件・公売方法の確認
公売に参加する場合は、あらかじめ市役所庁舎の掲示板又は市ホームページに掲載している「公売公告及び見積価額公告」で公売物件の状況をご確認ください。

お知らせ

日田市新型インフルエンザ等 対策行動計画(案) 〓意見をお寄せください

新型インフルエンザ等に対する対策の強化を図り、市民の皆さんの生命及び健康を保護するための指針をまとめた「日田市新型インフルエンザ等対策行動計画(案)」に対する皆さんの意見を募集しています。

健康保険課(ウエルピア内)、市役所3日以内窓口、各振興局・振興センター、各地区公民館(各振興局・振興センター管内を除く10か所)

意見書提出方法 〓意見書を左記に提出 ※意見書は閲覧場所に備え付けています。市ホームページから提出することもできます。

意見提出期限 2月12日(木) 健康保険課保健医療係 〓30000(ウエルピア内) 大山川で放流を実施

稚アユ放流前に、河床堆積物の掃除、アユの餌環境を改善するため、人工的に放流します。 河川の水位が急激に上昇しますので注意してください。 大山川では場所によっては1m程度上昇します。



本棚や茶たんすなどは、重い物を下の方に収納し、重心を低くしましょう。 棚やたんすなどの高いところに危険な物を載せて置かないようにしましょう。 食器棚などに収納されているガラス製品が転倒したり、滑り出したりしないよう防止枠を設けましょう。 吊り戸棚などの開き扉は、掛金などで扉が開かないようにしましょう。

最低賃金の確認を

最低賃金制度とは、最低賃金法に基づき国が賃金の最低額を定め、使用者はその最低賃金額以上の賃金を支払わなければならない制度です。 大分県の最低賃金は、平成26年10月4日から1時間677円に改定されていますが、産業別最低賃金も同年12月25日に次のとおり改定されました。 〓鉄鋼業 817円 〓非鉄金属製造業 807円 〓電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具

雨が降っていないなくても河川の水位が高くなり危険です。放流日は河川に入らないでください。

とき・放流場所 2月10日(火)・24日(火) 九州電力(株)大山川取水堰 〓水位上昇が見込まれる時間 午前8時〜午後6時頃 〓最大放流量 40m³/秒 〓環境課水・環境係 〓83557(市役所2階)

無料経営相談を開催 大分県産業創造機構の「よろず支援拠点」による無料経営相談会が開催されます。

とき 2月17日(火)、3月17日(火) 午前10時〜午後3時30分 〓ところ パトリア日田創作室 ※大分県よろず支援拠点に電話でお申し込みください。 〓大分県よろず支援拠点 〓097・537・2837 商工労政課地場産業振興係 〓82339(市役所3階)

インターネット公売物件下見会 〓とき 2月20日(金) 午前10時〜午後4時 〓ところ 市役所1階101会議室

Table with 2 columns: Industry and Amount. Includes categories like 製造業 (735円), 自動車・同附属品製造業 (704円), 各種商品小売業 (747円), etc.

2月は福祉手当の支給月

平成26年10月から1月分までの福祉手当(特別障害者手当、障害児福祉手当)を2月10日に振り込みますのでご確認ください。 ※振り込みの時間は、金融機関によって異なります。 ※現況届が未提出の場合は支給が差止めになります。 ※次のような場合は手当が支給できなくなり、社会福祉課に必ず届け出て下さい。 〓受給者が死亡又は市外に転出 〓病院等(診療所及び介護老人保健施設を含む)に3か月以上継続して入院 〓福祉施設(介護老人福祉施設や障がい

〓公売予定物件 つばなど 〓公売への申込方法 左記ホームページから申込み 〓ホームページアドレス http://koubaiauctions.yahoo.co.jp ※公売する物件(動産)を直接確認できるのは、下見会のみです。また、公売物件は変更することがあります。 〓税務課納税係 〓8205(市役所1階)

大分県交通災害共済 加入受付開始 市に住民登録をしている人を対象に、自治会を通して大分県交通災害共済のパンフレットと申込書を配布します。加入を希望する人は申込書に必要事項を記入し、掛金一人360円を添えて2月20日までに各自自治会の班長に提出してください。 ※左記及び各振興局・振興センターでも受け付けます。 〓市民活動推進課生活安全・消費生活係 〓7515(市役所2階)

鳥を新たに飼育し始めた人や 飼育をやめた人へ 防疫対策のため、2月以降に家きんを飼育し始めた人や飼育をやめた人は種類や羽数などの報告をすることが義務付けられています。下記に連絡をしてください。 ※家きんとは、鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、ダチョウのことでインコなどのペットも含みます。 〓社会福祉課障害福祉係 〓8290(市役所1階)

高齢者の生きがいグループ 合同発表会 老人福祉センターの教室や老人クラブ活動で、年間練習・修練した高齢者のグループ活動を発表する合同発表会を開催します。是非ご覧ください。 〓とき 2月21日(土) 午前10時〜午後3時 (午前9時開場) 〓ところ パトリア日田大ホール ※カラオケ、シルバードダンス、舞踊、三味線、太鼓、シニアハワイアンズ、ハーモニカ、地区代表芸能団、ファッションショーなどを発表します。



〓農業振興課内水面・畜産振興係 〓8211(市役所3階)

公共交通をご利用ください 市では市内循環バス、廃止路線の代替バス、予約制の市営上・中津江デマンドバス、乗合デマンドタクシーの運行や、路線バスの維持・存続のための支援を行っています。 〓周辺山間部を走るバスや予約制のバス・乗合タクシーは利用者が減少しており、このまま減少が続くと地域の公共交通の維持ができなくなってしまう。将来、公共交通を維持するため、また、地球温暖化防止対策のためにも環境にやさしい公共交通を利用しましょう。 〓地域振興課コミュニティ交通係 〓8356(市役所6階)

地震に対する備え 地震が発生したとき、被害を最小限に抑えるには、一人ひとりが慌てず騒がず適切な行動をとることが大切です。日頃から備えておきましょう。 〓7つの注意ポイント 〓家具等は転倒防止金具などで固定し、倒れにくくしておきましょう。 〓柱、壁に固定する場合は、L型金具と木ねじで家具の上部を固定しましょう。 〓サイドボード、食器戸棚、窓などのガラスが飛散しないようにガラス飛散防止フィルム等を貼りましょう。

離乳食教室 生後5か月から9か月の乳児の保護者を対象に離乳食教室を行います。 〓とき 2月24日(火) 午前10時〜 〓ところ 若宮公民館 〓募集数 15組(先着順) ※左記に電話でお申し込みください。(電子申請有り。右記の二次元コードからも申請できます) 〓申込期限 2月16日(月)



咸宜園教育顕彰事業
「咸宜園の日記」記念講演会・
ギャラリー展

咸宜園教育顕彰事業の表彰式に併せて、記念講演会を開催します。入場無料です。

■とき 2月22日(日)
午後1時30分～4時
(午後1時開場)

■ところ
パトリア日田小ホール

■演題・講師

「廣瀬淡窓の文章」

福岡大学教授 高橋昌彦氏

淡窓先生に学ぶ小中学校の取組展示

■とき

2月17日(火)～28日(土)
午前9時～午後6時

■ところ

パトリア日田ギャラリー

咸宜園教育研究センター

☎0268 (水曜日休館)

募集

バードウォッチングを開催

三隈川の水辺に飛来した渡り鳥などを観察します。

■とき

2月15日(日)
午前8時～正午

(亀山公園駐車場集合)

※下記に電話でお申し込みください。
(電子申請有り)

※防寒具や筆記用具は各自で準備してく

パトリア日田大ホール

応募資格

- ①日田市出身者、日田市在住者若しくは市内で勤務している人
- ②音楽専門課程を履修している人又は同程度の音楽技術を有する人
- ③市民音楽祭との共通チケット(一枚500円)を3万円以上販売すること

■演奏時間 10分～20分

■申込期限 3月20日(金)

※申込書は、左記及び市ホームページに備え付けています。選考結果は後日連絡します。

☎08445 (市役所6階)

タウン情報

人権コラム 心、豊かに



こころちゃん

許すことの「美学」

日常生活の中で、ミスや非礼は誰にでも起こりうるものです。ときにはそのミスや非礼が他人に迷惑を掛け、また不快な思いをさせてしまうこともあります。

そのようなときの修復的な役割を果たすのが「謝罪」で、謝罪とは「自らの非を認め相手に許しを請う」ことをいいます。一般的に、謝罪は口頭あるいは文書などでその意思が表現されます。謝罪の気持ちが相手に伝わらず、事態や人間関係を更に悪化させてしまうこともあり、謝罪が社会の形成に与える影響は決して小さくありません。

謝罪は謝る側、謝られる側、又は双方の再出発のための行為であり、謝罪によって物事(問題)が解決するものではないとされています。「謝ればそれで終わり」ではなく、スキルアップを図る機会と捉え、謝罪に至った要因の探求や日常の心構えを反省し、今後に生かすことが大切です。

謝罪には謝る側の自発的な行動が求められます。その行動に一定の誠意が加わって、謝罪としての体をなすものですが、昨今では謝罪の強要が散見され、その様子をネットに流すなどの非人道的行為が問題視されています。これには多くの人が強い不快感を示しており、批判的な意見が大半を占めています。

謝罪には「今後に向けたチャンス」という願いも込められています。謝る側の人権を尊重し、その願いを受け止める寛容性を養い、「許すこと」によって社会の流れを円滑に導く行動が望まれます。

あちこちで謝罪が繰り返され、そのことが話題になる社会を望む人はいないはずですが。「ごめんなさい」には「これからよろしく」と応じられる心を追求していくことも美学ではないでしょうか。

【問合せ】人権啓発センター
☎08017 (市役所別館1階)

ださい。また、双眼鏡を持っている人は持参してください。

問 博物館 ☎05394

クラフトテープで
おひな様作り

■とき 2月21日(土)
午前10時～正午
(午前9時30分から受付)

■ところ 生涯学習交流センター

■参加費 500円

■募集数 20人(先着順)

※生涯学習交流センターに電話でお申し込みください。

問 生涯学習交流センター

☎03211

社会教育課生涯学習推進係

☎06868 (中央公民館内)

小型家電リサイクルバスツアー

市では、平成26年10月から使用済み小型家電のボックス回収を行っています。

収集された小型家電がどのように資源化されていくのかを学ぶバスツアーを実施します。

※詳細は、大分県のホームページ

(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13020/koden-bustour.html>) をご覧ください。

■とき 3月3日(火)

午前8時30分～午後5時(予定)

日田市役所発着

■見学先

(株)大分エコセンター、パンパシフ

飾り巻き寿司教室

おひな様の飾り巻き寿司を作ります。

■とき・ところ 2月18日(水)

午前10時30分～正午

桂林公民館

■参加費 1000円

■募集数 18人(先着順)

※エプロン、巻きずし、持ち帰り用の容器・ラップなどを持参してください。



イックカッパー 佐賀製錬所
※昼食を持参してください。

■申込期限 2月13日(金)

問 大分県生活環境部地球環境対策課

リサイクル推進班

☎097・506・3124

日田共同高等職業訓練校
訓練生募集

■訓練科目

住宅施工科(大工、左官、木工)

■入校資格

中学、高校卒業以上で職人を目指す人

■訓練期間

2～3年間 毎週木曜日

■募集数 5人程度

※日田共同高等職業訓練校に電話でお申し込みください。

■申込期限 3月31日(火)

☎02772

問 日田共同高等職業訓練校



☎090・3010・2797(坂本)

商工労政課商業・労働福祉係

☎08239 (市役所3階)

日田香蘭高等職業訓練校
訓練生募集

■訓練科目 アパレル系洋裁科

■入校資格 中学校卒業以上

■訓練期間 2年間(週3日)

■授業料 無料

■募集数 15人程度

※日田香蘭高等職業訓練校に連絡の上、願書を出してください。

■申込期限 3月31日(火)

問 日田香蘭高等職業訓練校

☎02587

商工労政課商業・労働福祉係

☎08239 (市役所3階)

第69回日田市文藝祭

第21回市民音楽祭

「新人演奏会」出演者募集

新人演奏家が練習の成果を発表する場として「新人演奏会」を開催します。大勢の観客が集まる市民音楽祭で演奏をしてみませんか。奮ってご応募ください。

■対象部門

声楽、ピアノ、管楽器、弦楽器等

※アンプ等を使用して音源を拡大する楽器の演奏は対象外。

■開催日 10月24日(土)

※応募者の人数により開催日が翌日になることがあります。

■開催場所

外国人のための日本語教室、フリートークサロンと日本語のボランティアのための日本語指導学習会

初級、中級、上級、試験対策を行う日本語教室と、自由な会話などを行うフリートークサロンを無料で開催しています。

また、日本語のボランティアも募集しています。経験が無い人を対象に日本語指導学習会を無料で開催しています。

興味のある人は、左記に電話でお問い合わせください。

■とき・ところ

毎週日曜日 午後7時30分～

桂林公民館

問 国際交流会(中村)

☎070・5550・3597



※進撃の里帰りに登場した諫山創氏

「自治会への交付状況」
 制度の見直しでは、ふるさと納税の本来の主旨である「自分の生まれ故郷を応援すること」を重視し、市出身の人が自分のふるさとである自治会を直接支援することができる仕組み「自治会還流制度」を設けました。

その結果、自治会の指定が23件ありましたが、特に、人気漫画「進撃の巨人」の作者で大山町出身の諫山創氏から大山町を指定し100万円の寄附があったほか、前津江町にも130万円の寄附がありました。

また、大山町で開催された進撃の巨人のイベント「進撃の里帰り」に参加して「地元の人たちのおもてなしに感動した」と、大山町を指定し、東京都在住の人から100万円と兵庫県在住の人から10万円の寄附など、市外出身の人からも寄附をいただきました。

ふるさと納税「水郷ひた応援基金」の寄附状況と使い道

平成26年8月にふるさと納税「水郷ひた応援基金」制度を大幅に見直しました。平成26年12月末時点の寄附状況がまとまりましたのでお知らせします。

また、今回の見直しの目玉である「自治会還流制度」による自治会への寄附（水郷ひた応援交付金）が決定しました。



自治会の声

岩里諫夫会長（前津江町赤石）

多くの皆さんに日田市を案じていただき、非常にありがたいことです。また、寄附額の半分を自治会に交付する「自治会還流制度」を設けてくださった日田市にも感謝しています。

いただいた寄附金は、住民の皆さんと話し合い、一番役に立つ身近なもので皆さんが喜ぶものに使いたいと思っています。また、お年寄りに優しいものや地域の盆踊り、夏祭りなどの伝統文化の継承にも使用したいと思っています。

寄附いただいた皆さん、お声掛けいただいた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

指定自治会	寄附件数	自治会交付額 (寄附額の2分の1)
財津町	1	5,000円
諸留町	1	75,000円
新治町	1	15,000円
吹上町	2	15,000円
淡窓町	2	55,000円
夜明上町	2	30,000円
夜明関町	1	25,000円
若宮町	1	15,000円
天瀬丸山東	2	10,000円
天瀬桜竹1	1	5,000円
天瀬桜竹2	1	15,000円
天瀬塚田	1	20,000円
天瀬本城	1	5,000円
前津江（柚木・出野・大野・赤石）	2	187,000円×4
中津江鯛生	1	10,000円
大山烏宿	1	50,000円
大山（北部・中央・老松・西峰・都築・烏宿・清流・南部）	2	124,000円×8
合計（26自治会）	23	2,090,000円

寄附区分	件数	寄附額	
		うち市出身者	うち市出身者
A 30,000円未満	851件 (92.1%)	32件 (3.8%)	8,630,000円 (50.9%)
B 30,000円以上 100,000円未満	52件 (5.6%)	11件 (21.2%)	1,670,000円 (9.9%)
C 100,000円以上	21件 (2.3%)	8件 (38.1%)	6,650,000円 (39.2%)
合計	924件 (100%)	51件 (5.5%)	16,950,000円 (100%)

「寄附の状況」
 （平成26年12月31日時点）
 8月1日の制度見直しから12月までの5か月間で、全国から924件、1億695万円の寄附をいただきました。

使途指定	件数	寄附額
地域活性化事業	147件 (15.9%)	5,775,000円 (34.1%)
森林保全、育成事業	283件 (30.6%)	3,475,000円 (20.5%)
高齢化対策事業	101件 (11.0%)	1,170,000円 (6.9%)
その他市長にお任せ	393件 (42.5%)	6,530,000円 (38.5%)

「寄附額の使い道」
 制度の見直しで、寄附金の使い道を指定することができるようになりました。

「返礼品のリクエストベスト3」

これからも、ふるさと納税の周知や返礼品の充実など、更なる寄附の増加に努めます。

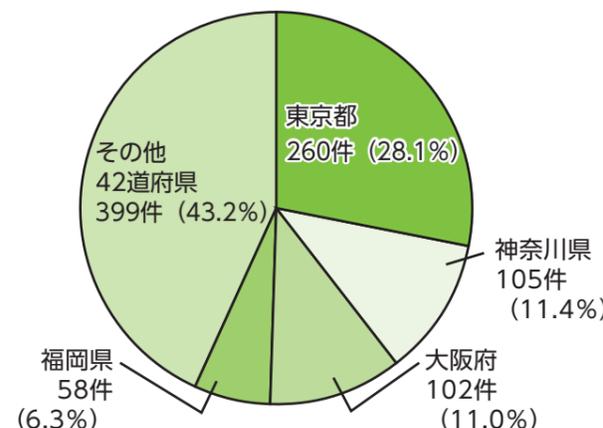
今後とも市民の皆さんのお声掛けなどのご協力をよろしく願います。

企画課政策企画係
 ☎82227（市役所6階）

コースごとの返礼品のリクエストベスト3

	寄附区分Aの返礼品	寄附区分Bの返礼品	寄附区分Cの返礼品
1	日田梨 (注文数：363)	小鹿田焼お皿セット (注文数：20)	進撃の巨人梅酒セット (注文数：6)
2	日田のぶどう (注文数：124)	竹箸セット 日田焼杉下駄セット いのしし焼肉セット (注文数：各4)	小鹿田焼コーヒー碗セット (注文数：4)
3	干し椎茸 (注文数：115)		地酒と酒器セット 地酒とおつまみセット (注文数：各3)

「返礼品のリクエスト状況」
 寄附件数、寄附額が大きく増加した一番の要因は、日田の特産品を返礼品として贈るといった特典を設けたことですが、これは日田産品のPRや消費拡大にもつながります。特に、梨やぶどうなどの生鮮食品に人気が集まっています。



「寄附者の内訳」
 全国47都道府県のうち、鳥取県以外の46都道府県の人から寄附をいただきました。

「寄附者の声」

- ・里山保護に役立ててほしいです。
- ・数年前に観光で訪れました。鵜飼、屋形船、おいしい醤油が印象に残っています。
- ・水の豊かな町と聞いています。今後も自然が守られるよう微力ながら応援させていただきます。
- ・今後とも森林保全・育成と水資源の保護をお願いします。



1. 渡り廊下が倒れたままの大川小学校 / 2. 74人の生徒と教員10人の生徒の名前や校歌などが刻まれた慰霊碑 / 3・4. 濱谷さん夫妻、及川さん夫妻から震災当時の話を聞く / 5・6. 南境仮設住宅でクリスマスプレゼントを配付 / 7. 仮設住宅の皆さんと食事や踊りで交流 / 8. 午後2時46分で時計が止まった閑上中学校。9・10. 学校の前の献花台に書かれたメッセージ / 11. 震災後、住宅などが流され景色が一変した日和山からの展望



被災地で感じた 復興への思い

中学生18人が日本緊急援助隊チーム大分（梅山忠信代表）の石巻ボランティアに参加しました。被災者との交流や被災地の視察など貴重な体験を通じて感じた、石巻の「今」を伝えます。

震災の恐怖は今も残っている

梅山加蓮（南部中3年）



私は今回のボランティアで色々なことを知りました。バスで移動するとき、3年経っても未だに建物がない場所が多く、復興は進んでいないんだなと思いました。また、大川小学校では、写真などで見たことはあったけど、実際目の前でみると想像とは全然違って、壁などが全く無く、教室の中が丸見えの状態

でした。それを見て改めて津波の恐ろしさを実感しました。夜の交流会では、お世話していただいた及川正子さんが当時のことを話してくれました。及川さんの娘さんは暗いところに行けないほど、震災の恐怖が今でも残っているようです。私はこういう人のためにも、何かできればいいなと改めて感じました。クリスマスプレゼント配りでは、出て来てくれない人もいたけど、出て来てくれた方たちは笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。これからもたくさんの人たちに活動を続けていってほしいです。

支援を続けていきたい

栗野 惟（南部中3年）



実際に石巻に行く前は、被災地はどんどん復興しているものだと思っていました。しかし、実際に現地に足を運んでみると、自分の考えがあまりにも浅はかだったことがよく分かりました。また被災した小・中学校を見て、災害で子どもたちが亡くなっていなかったら、どんな人生だったかを考えるととても悲しくなりました。2時46分で止まっている時計を見て、その上の雲はゆっくりでも動いているのに、時計の針は全く動いていないので、更に悲しくなりました。

しかし、2日目のクリスマスプレゼント配付では、本当にうれしそうな顔で「ありがとう」と言ってくれた方がいて、私の方が元気をもらうほどうれしかったです。私は今回の経験でたくさんのことを学びました。今からは、被災地の現状を実際に見ることで感じた気持ち、そして被災された方々の頑張りなどをたくさんの人に伝えていきたいです。

12月13日・14日、石巻ボランティア研修が行われ、市内の2中学校の代表18人が、宮城県石巻市を訪れました。一日目は、全校生徒108人のうち74人と教職員10人が亡くなった大川小学校を視察。また、夕食時には被災した濱谷勝美さん・ゆみ子さん夫妻、及川幸治さん・正子さん夫妻と交流し、及川さんは当時の体験を振り返りながら震災の恐怖を伝えました。二日目は、石巻市南境仮設住宅500戸を訪問し、クリスマスプレゼントを配付しました。プレゼント配付後は、仮設住宅に住む人と交流会を行い、食事や踊りを楽しみました。また、震災当時多くの人々が避難した日和山とそのふも

とにある門脇小学校、卒業式前日に大きな被害を受けた名取市の閑上中学校を視察しました。中学生たちは、二日間の貴重な体験を通して、自然災害の恐ろしさ、家族や友人を失う悲しみ、復興に向けて前を向く人の強さを間近に見て多くのことを学びました。被災地の現状を知った生徒たちは「自分たちが見たこと、聞いたことを少しでも多くの人に伝えたい」と話します。震災からまもなく4年。テレビで報道されることも少なくなりましたが、被災地では多くの人が仮設住宅での暮らしを余儀なくされています。生徒たちの目線を通して、私たちが今すべきことを一緒に考えてみませんか。

参加者一覧（敬称略）

学校名	学年	名前
南部中学校	3年	栗野 惟
	3年	梅山加蓮
	3年	後藤 圭
	3年	杉山 凜
	3年	安心院愛実
	3年	木下実紘
	3年	大倉久穂
東部中学校	3年	伊藤望愛
	3年	石松民生
	3年	大石未音
	3年	佐藤謙伸
	3年	佐藤龍聖
	3年	中島大喜
	3年	伊藤 悠
	3年	岩屋沙樹
	3年	栗野優花
	3年	田中愛鈴
	3年	山崎真寿

少しでも早く元の暮らしに

伊藤望愛 (南部中3年)



石巻のボランティアに参加して、改めて地震・津波の恐ろしさを思い知らされました。特にそれを感じたのが、卒業式を控えていた閉上中学校を訪れたときです。中学校の外の時計は2時46分で止まっていた。間近で見て本当に怖かったです。校舎の中を見ると、教室の黒板に卒業式のメッセージがたくさん書か

れていました。それを見たときに胸が締め付けられるような思いになったのと同時に、恐怖を強く感じました。

私達に今できることは限られています。今回私たちは被災者の皆さんに、少しでも笑顔を取り戻してほしくて、サンタの服を着てクリスマスプレゼントを届けました。喜んで「ありがとう」と言ってくれました。ちょっとでも笑顔になってくれてとてもうれしくなりました。

今の私たちにはこのくらいのことしかできませんが、少しでも早く元の暮らしに近づけるようになってほしいと願っています。

少しでも多くの人に伝えたい

大倉久穂 (南部中3年)



私はこれまでに新聞やテレビ、インターネットで、ある程度の震災の現状を調べていたのですが、現地に行ってみると、想像していたものとは全く違う風景がありました。かつて住宅地だったところには、未だに岩が散乱し、雑草が広がっていました。それを処理している方は誰もいませんでした。

現地の方に聞くと、震災直後に比べてボランティアの数は激減し、いくら土地を整備してもすぐに荒れてくるので、現地の方もあきらめかけているそうです。私はそれを見て、何もできない自分の無力さが悔しかったです。

それでもクリスマスプレゼントの配付では、たくさんの方々が喜んでくれて、少しだけれど力になれた感じがしてうれしかったです。

中学生の私たちにはできることは限られています。それでもこの現実を少しでも多くの方に伝えていけば、この状況を変えていくことができるんじゃないかと思いました。

小さな努力を積み重ねている

杉山凜 (南部中3年)



1日目は大川小学校に行きました。写真で見えていたが、実際に見てみて、津波の恐ろしさを改めて感じました。教室の壁の鉄骨がむき出しになっていたり、当時の黒板がそのまま残っていたので驚きました。大川小学校では生徒74人、教員10人も命が奪われたそうです。とても悲しい気持ちになりました。

2日目は閉上中学校に行きました。この中学校は卒業式の前日に被災したそうです。黒板や机には寄せ書きが残っていました。そして外にあった時計は、震災があった時間で止まっていた。

また、南境仮設住宅でのクリスマスプレゼントの配付では、仮設住宅の人たちの元気が良く、優しく対応してくれたのでとてもうれしかったです。

2日間でたくさんのお話を学びました。被災された方は今も小さな努力を積み重ねています。自分にできることを考え、これからも取り組んでいきたいと思いました。

大きな廃墟を目の前に

後藤圭 (南部中3年)



2日間の石巻ボランティア研修に参加して、たくさんの方に驚かされました。

まずは、最初に行った大川小学校でした。校舎はほぼ被災当時のままです。体育館の渡り廊下のコンクリートが倒れたままだったり、教室の壁がなくなっていて、鉄骨が出たままの状態だったりしました。大きな廃墟を目の前

にして唖然とするだけでした。

2日目は、南境仮設住宅の皆さんにクリスマスプレゼントを配りました。たくさんの方が笑顔で迎えてくれました。私たちもその笑顔にたくさん元気をもらいました。プレゼントを配った後に、仮設住宅の集会所で交流会を行いました。現地の方に踊りを教えてもらい、皆さんと楽しく踊ることができました。

現地の復興は十分じゃないけど、これからの復興に希望を持って皆さん頑張っていました。私はこの事実を伝え、そして今できることを少しでもやっていきたいです。

見てきたものを伝えたい

大石末音 (東部中3年)



私は初めて被災地を訪れました。今はもう三年経っていますが、まだ仮設住宅に住んでいる人達がいるという現状を知りました。ここでは、濱谷さんや及川さんなど、南境の仮設住宅の人たちが私たちのために料理を作ってくださいました。おいしい料理を食べながら、当時の話を聞いたり、一緒に踊ったりととても良い時間が過ごせました。元気づけるために行ったのに、私たちのほうが元気づけられました。

現地に行かないと見ることができない人々の笑顔や消えることのない心の傷を見ました。

この経験を通して私たちがしなければいけないことは、見てきたものを友達などに伝えていくことだと思いました。

この経験を通して私たちがしなければいけないことは、見てきたものを友達などに伝えていくことだと思いました。

私たちが復興を

石松民生 (東部中3年)



私たちはボランティアで石巻に行きました。1日目は、大川小学校へ、2日目は日和山や閉上中学校、仮設住宅に行きました。大川小学校、日和山、閉上中学校は、すごく津波の爪あとが残っているところでした。イメージで言えば、コンクリートだけ残った平野でした。まるで開拓途中の町でした。私は悲しみが込み上げるの

かなと思っていましたが、悲しみというより圧倒されました。そして私が一番行って良かったなと思ったことは、仮設住宅へのプレゼント配りです。私は、現地の方々はとても心が温かいなと感じました。しかし、話などを聞くととても悲しいことばかりでした。現地の方々は悲しいことを乗り越えて今があるのです。でもまだまだ心に傷を負っている人たちがいるので、私たちのような若い世代が復興をしていくことがとても大切だと感じました。私はまた石巻を訪れたいです。

変わらない景色を見て

木下実紘 (南部中3年)



震災から4年近く経った今、被災地の石巻は少しずつ元の状態に近づいているのだろうと思っていました。けれど、実際は当時のがれきの山が取り除かれているだけで、震災1年後、2年後とあまり変わらない景色に見えました。

私が一番心に残ったのは、津波にのまれた閉上中学校の黒板です。それは卒業式前日のもので、先生や友達へのメッセージ、将来の夢などが書かれていました。それを見たときに、震災のことを絶対に忘れてはいけないと強く思いました。今回、中学生の私にはできることは限られていたのですが、目を見たことや感じたことを、ずっと忘れずにいることはできます。津波の恐ろしさや津波によって亡くなった人、また残された人たちのことや復興のために頑張っている人たちのことなどが、より現実的に考えられるようになりました。

私は今まで以上にこの震災のこと、復興のことに心を掛けていきたいと思っています。

日頃から準備し、備えておくことが大切

安心院愛実 (南部中3年)



私は石巻に行き、被災した現地を見ました。家はなく、背の高い雑草が広がっているだけで、ここに人が住み、生活していたなんて考えられませんでした。津波で人や家、街、そしてたくさんの思い出や家族までもが流された事実を知り、改めて大きな悲しみを強く感じました。

今回私たちが訪問した南境の仮設住宅で、震災当時のお話をたくさん聞くことができました。その中で私が特に印象に残ったことは、常日頃から準備し、備えておくことが大切だということです。震災から3年9か月、当時よりテレビなどの報道が少なくなると同時に、非常時に対する意識も低くなってきているのではないかと思います。私は震災のことを忘れることなく、準備をしておかなければと思いました。

私たちが知らないことがたくさんありました。今回知ったことをたくさんの人に伝え、報道が少なくなってきた今、しっかり伝えていかなければと感じました。

支援を続けていきたい

栗野優花 (東部中3年)



3年前の3月11日、遠足から帰ってテレビをつけると、どのチャンネルも地震についての番組ばかりで事の重大さを思い知らされました。まさか自分があるときテレビで見た石巻市に立てるとは思いもしませんでした。

実際行ってみると、テレビで見たがれきの山が一つ残らずなくなって、逆に寂

しいくらいの静まり返った光景が広がっていました。

石巻の皆さんが復興に向けて前向きだったので元気をもらうことができました。仮設住宅に住んでいる方にプレゼントを配ると穏やかな笑顔で「ありがとう」とお礼を言って受け取ってくれました。

家にいない方もいましたが、ほとんどの方が出てきてくれて小さな子供の無邪気な笑顔に癒されました。

これからの復興に向けて、自分も力になれるよう、支援を続けていきたいです。

自分にできることは何か

岩屋沙樹 (東部中3年)



私はこの石巻ボランティアに行ってきたことを学べました。

まず大川小学校に行きました。私が思っていた以上の被害で驚きました。校舎の間にあった渡り廊下が壊れているのを見て、どれだけの被害だったのかが分かりました。閉上中学校では、地震が起きた2時45分のまま止まった時計がありました。

2日目の仮設住宅では、家から出て来ない人もたくさんいました。しかし、出て来てくれた人たちはたくさんお話ができたし、みんな笑ってくれたので良かったです。

私は石巻に行ってきたと思っています。テレビでしか知らなかった石巻の現状が行ってみると想像とは全く違い、色々なことが学べました。石巻の人たちは「復興」に向けて努力していました。だから私は、今自分にできることは何かを考え、少しでも手助けできたらなと思っています。

誰かを支えられるように

佐藤龍聖 (東部中3年)



私は日本緊急援助隊チーム大分としてボランティア活動に参加しました。

仙台空港に到着し、大川小学校に行きました。校舎は津波による被害で太い柱は折り曲がり、中の鉄骨が飛び出していました。この場所で多くの方々が行方不明になりました。私は自然災害の恐ろしさを改めて感じました。

南境仮設住宅の交流会でいろいろな体験談を聞きました。海辺の波が大きくなって押し寄せたこと、家族を探し、避難所を駆け回ったときのこと、どれも想像を超える体験談でした。このような体験をしたにも関わらず、私たちを温かく迎えてくれました。

これから私ができることは、現地で見て聞いて感じたことを、親や友達に話すことだと思います。そして助け合い、支え合っている方々を見ていたら、私も誰かを支えられるような人になりたいと思いました。

災害時にも安心な世の中に

佐藤謙伸 (東部中3年)



今回の石巻市のボランティアでは、今まで行ってきたボランティアとは違い、実感したものが大きかったです。

話を聞く中で、「情報が入らずに困った」ということを聞きました。そこで、これからの進路となる高校で、そういった状況を無くすための勉強・研究をして、将来、小さなサイズでも充電量の

大きいバッテリーを作りたいという意志が強くなりました。

今後、災害が起きたときに、情報がすぐに入り、安心できるような世の中になればいいなと思いました。

多くの人たちに伝えたい

山崎真寿 (東部中3年)



私は2日間という限られた時間の中での石巻研修で、今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。その中で一番印象に残っているのは、大川小学校です。大川小学校は全校生徒の7割が亡くなり、被害の大きかった場所です。教室と教室をつなぐ渡り廊下が津波で破壊されているのを見て、津波の恐ろしさを改めて知ることができました。

そして実際に濱谷さん、及川さん夫妻や南境仮設住宅の方から、震災当時のことを直接聞き、詳しいことが分かりました。

今はテレビでも大震災のことが流されなくなってきています。今回の研修で被害に遭われた方が私達に伝えてくださったことを、たくさんの方に伝えていきたいです。

復興を目指して

田中愛鈴 (東部中3年)



私は12月13日・14日に宮城県石巻市にチーム大分としてボランティアに行きました。

1日目の最初に大川小学校に行きました。そこで見た大川小学校はテレビや新聞で見たとおりぼろぼろで、大きくて太い柱が折れたりしていました。津波がどれほど強かったのかが感じられました。その後、及川さん夫妻・濱谷さん夫妻たちと一緒に食事会をしました。同じテーブルだった及川さんから過去の状況や現在の状況などを聞くことができました。夜は仙台市にあるボランティアセンターに無料で泊ってもらいました。その近くには津波の被害があったとは思えないくらいきれいなイルミネーションがありました。

2日目はサンタさんの格好をして仮設住宅の人たちにプレゼントを配ったりしました。石巻の人が温かいご飯を用意してくれました。まだ支援が必要な人もいますが、復興を目指して頑張っている人を知ることができました。

少しでも早く復興してほしい

伊藤悠 (東部中3年)



私は2日間、石巻に行きました。行く前に石巻のことを調べて行ったけど、石巻に行くとは想像していたよりも被害が大きくてびっくりしました。

石巻に着いて、まず大川小学校に行きました。渡り廊下が倒れていて津波の恐ろしさがとても分かりました。その日の夜は被災者の方とお話をし、当時のことを教えてくださいました。次の日は門脇

小学校、日和山に行きました。日和山から見た石巻は、震災前の写真と比べると全然違って、前は家などがたくさん建っていたけど、今はほとんどの家がありませんでした。次に仮設住宅に行くとプレゼントを配りました。喜んでくれる方もいて、私もうれしかったです。

まだ石巻などは完璧に復興できていません。私たちにできることをして、1日でも早く復興してほしいです。そして、日田の人たちに学んだことを伝えていきたいです。

震災は絶対に忘れてはいけない

中島大喜 (東部中3年)



13日、14日の二日間、ボランティア研修会で被災地を訪れました。1日目は大川小学校に行きました。自分が想像していたより悲惨でした。渡り廊下などの柱が倒れていました。津波の恐ろしさがよく分かりました。2日目は、まず門脇小学校周辺に行きました。家が全くななくなっていました。そして、津波の高さが分かる場所もあり、6mの高さになっていたの

で、すごく驚きました。次に、日和山に登り、上から石巻の町を見ました。震災前の写真があったので比べてみたら全く違ってました。改めて津波の恐ろしさが分かりました。その後仮設住宅の方にプレゼントを届けに行きました。うれしそうにもらえる人もいましたが、家から出て来ない人もいました。傷が癒えてない人もいるんだなと思いました。震災は絶対に忘れてはいけないことだと私は思います。今回のこのボランティアで、少しの人にでも手助けできていたらうれしいです。



全国バドミントン大会5位入賞

第23回全国小学生バドミントン選手権大会（平成26年12月25日～29日・新潟市）で5位に入賞した咸宜ジュニアの長谷部駿友君、長谷部亮友君が1月15日、市役所を訪れた。駿友君は「改善点を見直して、次も全国大会を目指して頑張りたいです」亮友君は「負けて悔しかったです。中学校でもう一度全国を目指したいです」と今後の抱負を語った。



グルメや工芸品が集結 日田まると市場

1月16日から18日にかけて福岡市の天神中央公園で「深発見日田まると市場福岡天神日田大物産展」が開かれ、市内40の店舗が日田の食や工芸品をPRした。会場には日田のキャラクターたんそうさんも駆け付け、PRに一役買った。期間中には、下駄の絵付け体験や祇園囃子等の演奏も行われ、3日間で約2万2,000人が訪れた。



環境省水・大気環境局長表彰を受賞

星空観望会などを通じて大気環境の状態を子供たちと観察する活動を行う梶原達夫さんと定期的な水質調査で水環境の保全活動に取り組む聖陵会水環境委員会（原由美委員長）が、大気環境、水・土壌環境の保全の分野で環境省水・大気環境局長表彰を受賞し、1月9日、市役所で原田啓介市長に受賞報告を行った。梶原さんは「受賞は意外でしたが、これからも自然の素晴らしさや環境を守ることの大切さを子供たちに伝えたいです」と話し、聖陵会水環境委員会の原さんは「受賞にびっくりしました。今までの活動を評価していただけてうれしいです。引き続き活動に取り組んでいきます」と抱負を語った。



林業のこれからを考える

「九州の森林・林業・木材産業交流会in日田」が1月21日、パトリア日田で開かれた。原田啓介市長ら4人をパネリストに招き、木材を供給するマーケットの拡大や業界関係者の連携の必要性などが提起された。東京大学大学院の安藤直人教授は「林業の担い手を育成するため、保育所などの公共建築物から木材を利用してほしい」と話した。



出初式で決意新たに

日田市消防団出初式が1月18日に開催された。陸上競技場で人員服装点検や消防分団による行進などが披露された後、三隈川でポンプ車による一斉放水が行われた。川面に虹が掛かると訪れた観衆から歓声が上がっていた。パトリア日田では消防団員の永年勤続表彰などが行われ、216人に感謝状が贈られた。



親子連れで楽しむ エホントまつり

1月12日、パトリア日田で第3回エホントまつりが開催され、市内の親子連れなどが楽しんだ。これは絵本や音楽を通じて幅広い世代が楽しめる活動に取り組むエホントが毎年開催しているもの。絵本うたよみライブでは、市内外から参加した8人が、音楽に合わせてユーモアたっぷりに読み聞かせた。子供たちは熱心に聞き入り、絵本の世界に入り込んでいた。



中ノ島町で伝統の「鬼火たき」

正月の伝統行事、鬼火たきが1月11日の早朝、中ノ島町の河川敷で行われた。会場には約300人が集まり、神事の後、未年生まれの人20人が点火。勢いよく立ち上る火柱を浴びながら無病息災を願った。町おこし活動を続けるDS会の倉嶋次郎会長は「鬼火たきは一年間の無病息災を願う伝統行事。精一杯続けていきたい」と話した。



以前から興味があった陶芸に挑戦しました。陶芸は、湯飲みからインテリア雑貨まで幅広く活用され、一つひとつに手作りならではの趣がありますが、本格的に作るためには、粘土やろくろなど準備するものがあります。私は初心者ということもあり、オーブンで焼ける市販の陶芸粘土で作りました。

作り方は、ひも作り、太ひも一本作り、平ひも作り、水引きという4つの方法がありますが、今回は太ひも一本作りで作成しました。この方法は湯飲みなどあまり高さのない作品に向いています。

まず、底の部分を円に切り取り、側面は直径3cmのひも状にして両端を合わせ、ドーナツ型にします。そのつなぎ目を底の土となじませ、両手を使って側面を高く整えていきます。簡単に感じるかもしれませんが、

底の円が大き過ぎたり、側面の粘土が足りなかったり、部分によって粘土の厚さが違っていたり、高さに合わせてようとすると粘土を伸ばしすぎて形が変わってしまったりと一筋縄ではいきませんでした。「今度はうまく進んで！」と思っていても少しでも力の加減を間違えらると思わぬ形に変化してしまうという難しさがありました。でも、それも陶芸の魅力の一つだと感じました。

形が出来上がったら、5日間乾燥させ、その後オーブンでも乾燥させ、高温に設定してから30分焼きました。着色をしなくても十分に土の風合いを楽しむことができます。作った作品はペン立てとして重宝しています。

実際の陶芸は、形成→乾燥→素焼き→釉薬掛け→本焼き→窯出しの順に進みます。是非本手に取ってチャレンジしてみてください！

参考にした本
陶芸を楽しむ
遊佐恵子／著
雄鶏社



新刊情報

今日が、人生最後の日だったら。
千田琢哉／著
学研パブリッシング



生きているから、やっておきたいことがある。生きているから、伝えたい言葉がある。あなたは今日を、精一杯生きているだろうか？どうせ生まれてきたのだから、人生最後の日に笑って死ぬる自分でしよう！20代のカリスマが提案する、人生完全燃焼の法則。

へえこいたのだから？
平田昌広／作
野村たかあき／絵
くもん出版



「ぶ〜う」。あれれ、なんか臭うぞ。だれだ、おならしたやつは……。暗闇の中での子鬼3兄弟のおならを巡るミステリー。会話の天才・平田昌広と鬼の版画家・野村たかあきによる夢のコラボレーション。

おいでよ！おはなし会
2月14日(土) 午後3時～4時
2月28日(土) 午前11時～正午
児童コーナー

2月の休館日 (○…休館日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

貸出し図書の期間延長

淡窓図書館の図書の貸出し期間は、原則2週間までですが、期間延長ができます。カウンターで延長したい本と利用者カードをお持ちの上、期間延長したい旨をお申し出ください。延長処理をした日から2週間後が返却期限になります。2回の期間延長はできませんのでご注意ください。また、延長したい本に予約が入っていたときは延長できませんのでご了承ください。

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 -近世日本の教育遺産として- ⑥

地域の自然や文化遺産を活用した教育
「放学・遊山」 ～亀山（日隈山）～

【問合せ】世界遺産推進室（咸宜園教育研究センター内） ☎20268



咸宜園では構内の授業だけでなく、ときには師弟同行して、ときには塾生たちだけで、しばしば周辺の山野、河川、神社・仏閣などに出向き、遊び、弁当を開いて食事をし、詩を読むなどを行いました。

このように、塾の休日である「放学」、山歩きをした「遊山」が淡窓の日記などに見られます。

今号では、放学・遊山の地として「亀山」を紹介します。

亀山（日隈山）は、亀翁山ともいい、清流三隈川の中に屹立する秀麗明媚なその姿は日田第一の景勝です。近世初期に日田地域が太閤蔵入地になったとき、代官に着任した宮木長次郎がこの地に日隈城を築きました。その後、毛利高政が二万石の大名として城主となります。高政時代には五層の天守閣や三層の櫓があったといわれていますが、関ヶ原の戦の後に黒田方に城を明け渡し、佐伯に転封となります。実際には毛利軍と黒田軍は両軍にらみ合いの末、戦いは行われていないようです。こうして黒田孝高（官兵衛）の家臣栗山利安が一時治めました。

※転封：所領を別の場所に移すこと。

淡窓は、三隈川を渡って散策や旅行などをすると亀山付近を度々通っています。ただし亀山によく登ったのは若年の頃だったようです。天保12年（60歳）の記事に「散歩して隈川の橋を渡り杉林の下で息ふ。

遂に亀翁山に登る。余、少年の時はしばしば此の山に遊びしが、今は三十年にして一来せり」と述べています。また「帰路、藜莽を披き頗る疲困す」とあって、この頃の亀山は草木が生い茂り、それをかき分けて進まなければならぬほど、登るのが難しかったものと思われまふ。

淡窓は亀山の景色を漢詩「隈川雑詠」で「豪奴、千金の価を惜しむに非ず、買ひ難し、亀山半面の青」（富豪が高い値段を払えたとしても、亀山の青々とした素晴らしい絶景はその片側さえも買おうのが難しいほどのものである）と緑に映えるその絶景を詠んでいます。

隈川雑詠五首の四 廣瀬淡窓

亀山 宛として水の中央に在り
伝ふ是れ 毛侯の古戦場
画戟彩旌 空しく一夢
蘆花乱れ発いて 月蒼蒼

亀山はさながら川の中央に位置するかのよう立っており、この地は毛利侯の古戦場と伝わっているが、画戟彩旌、空しく一夢、月蒼蒼とある。ただ月影の青々たる下に、蘆の白い花が乱れ開くのを見るばかりである。



亀山公園（現場写真）

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ⑩ 【問合せ】健康保険課健康支援係 ☎243000

いとこ煮

主に前津江に伝わる郷土料理です。お煮しめと小豆がゆを混ぜた感じです。農繁期のおやつとして食べられてきました。食感が滑らかでとてもおいしいです。



<材料> (4人分)
もち米 1/2カップ 人参 70g
小豆 1/2カップ ぎんなん 8個
里芋 150g 昆布だし汁 3カップ
大根 150g 塩 大さじ1/2

- ①小豆は固めに煮ておく。
- ②もち米は洗っておく。
- ③野菜は皮をむき、1cm角に切っておく。
- ④鍋に全ての材料を入れ、煮立つまで強火、煮立ったら弱火にする。塩を加えて煮込む。



にいな
松本新菜ちゃん
(2歳・清水町)



しゅんや
中川隼矢ちゃん
(1歳・吹上町)



さんしろ
末武三士郎ちゃん
(1歳・中央1丁目)



ゆきの
押田千乃ちゃん
(1歳・内河町)



ひより
草野陽菜ちゃん
(1歳・清水町)



そら
音成輝空ちゃん
(1歳・三芳小淵町)



みさき
後藤心咲ちゃん
(1歳・藤山町)



りな
山口律那ちゃん
(3歳・上諸留町)



らん
中島 蘭ちゃん
(3歳・東羽田町)



ゆいか
谷口結香ちゃん
(3歳・夜明閑町)



ごうし
加藤剛志ちゃん
(2歳・龜山町)



みづみ
佐々木みうちゃん
(2歳・中央2丁目)



ここな
財津心菜ちゃん
(2歳・羽田町)



さとみ
浦上賢史ちゃん
(2歳・丸山1丁目)

3月3日はひなまつり ひなまつりを一緒にお祝いしませんか。

<p>中央児童館</p> <p>★ひな人形制作 18日(水)・19日(木) 午前11時～</p> <p>天瀬児童館</p> <p>小 ひな人形作り 18日(水) 午後4時～</p> <p>乳 おひなさま会 26日(木) 午前10時30分～</p>	<p>大山児童館</p> <p>●おひなさま作り 乳 18日(水) 午前10時30分～ 小 21日(土) 午前10時30分～</p> <p>ひのくま子育て支援センター</p> <p>★ひなまつり会 28日(土) 午前10時30分～午後0時30分</p>
---	--



りょう
長谷 遼ちゃん
(3歳・刃連町)



すい
伊藤 翠ちゃん
(3歳・田島2丁目)



たつや
宮崎龍弥ちゃん
(3歳・丸山1丁目)



せんり
押田千里ちゃん
(3歳・内河町)

元気な日田っ子集まれ!

4月に誕生日を迎える3歳までのお子さんが対象です。3月1日までにお申し込みください。(抽選の結果は、当選者のみに連絡します)

はがき 住所、お子さんの氏名と生年月日、保護者名、昼間の連絡先を記入の上、郵送

ホームページ 市ホームページ(電子申請システムのページ)から申込み

携帯電話 下記の2次元コードから申込み



※申込みの際は、写真を送付する必要はありません。
☎877-8601(住所記載不要)
情報統計課行政情報発信係
☎8627(市役所6階)

日田市の人口
(平成26年12月31日現在)

■人口
69,422人
(前月比-69人)
・男 32,862人
・女 36,560人

■世帯数
27,104世帯




<p>チャイルドプラザ ☎25300</p> <p>★ベビーヨガ 10日(火) 午前11時～</p> <p>●ベビーマッサージ 18日(水) 午前11時～</p> <p>●身体計測 19日(木) 午前11時～正午</p> <p>●お誕生会 24日(火) 午前11時～ ※誕生者は30分前集合。</p>	<p>丸の内子育て支援センター ☎231890</p> <p>●人形劇(バク) 6日(金) 午前10時30分～</p> <p>●土曜開放日(フレンズデー) 7日(土) 午前9時30分～正午</p> <p>★トッポンチーノ 28日(土) 午後0時30分～3時30分 ※参加費 500円 材料費 5,950円</p>	<p>ひのくま子育て支援センター ☎27565</p> <p>●園児とのふれあい 12日(木) 午前10時10分～11時</p> <p>★試食会 18日(水) 午前10時15分～午後0時30分</p> <p>●リトミック 23日(月) 午前11時15分～11時45分</p>
---	---	--

松原児童館(☎2922)は、毎週土曜日のみ開館しています。

<p>まえつえ子育て支援施設 ☎32409</p> <p>●節分パーティー 10日(火) 午前10時～正午</p> <p>●せいまお兄さんと遊ぼう! 13日(金) 午前10時～正午</p> <p>●ランチday 19日(木) 午前10時～正午</p>	<p>大山児童館 ☎2901</p> <p>●おはなし会 小 7日(土) 午前10時30分～</p> <p>●25日(水) 午前10時30分～</p> <p>●バレンタインチョコ作り 14日(土) 午前10時30分～</p>	<p>天瀬児童館 ☎78922</p> <p>●マイカレンダーを作りましょう! 7日(土) 午前10時30分～</p> <p>●すくすく相談 13日(金) 午前10時～</p> <p>※母子手帳を持参してください。</p> <p>●おはなし会 25日(水) 午後4時～</p>	<p>中央児童館 ☎76406</p> <p>●せいまお兄さんと遊ぼう 6日(金) 午前11時～</p> <p>●3B体操 20日(金) 午前11時～</p> <p>●★チャレンジキッズ(作って遊ぼう!) 25日(水) 午後3時30分～</p> <p>●療育事業(音あそび) 27日(金) 午前11時～</p>
--	---	---	--

子育てを応援します!
2月の主な催し
小…小学生対象
乳…乳幼児対象

★印は事前予約が必要です。※児童館の利用には、年1回登録申請書(押印必要)を提出してください。

天領日田おひなまつり

豆田地区の交通規制

天領日田に春の訪れを告げるおひなまつりの季節が到来しました。
今年も豆田地区や隈地区、天瀬町古園地域などを中心に、旧家や資料館で絢爛豪華なひな人形やひな道具が一斉に展示公開されます。

▶開催期間 2月15日(日)～3月31日(火)

[豆田地区の交通規制]

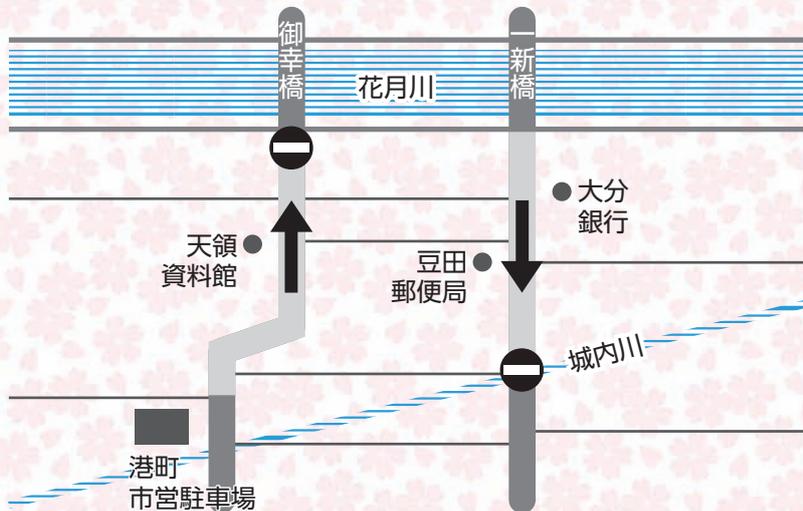
下記の時間は豆田地区の上町通りと御幸通りが一方通行になります。

▶交通規制期間

2月15日(日)・22日(日)・28日(土)、3月1日(日)・7日(土)・
8日(日)・14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)

▶時間 午前10時～午後5時

▶交通規制図



問 観光課観光企画係 ☎228210 (市役所3階)



▶同時期に開催されるイベント

- ・青い目の人形パレード
2月15日(日) 午前10時～
JR日田駅～パトリア日田
- ・豆田流しびな
3月1日(日) 午前10時～午後2時
桂林荘公園
- ・日田おおやま梅まつり
2月15日(日)～3月15日(日)
大山地区

市長コラム

坂の上の雲を探して

26

昨年末に行われた衆議院選挙。争点があつつきりしないといわれる中、与党の圧勝となり、第3次安倍内閣がスタートしました。

第3次安倍内閣の目玉は「地方創生」です。昨年11月、地方創生の理念などを定めた「まち・ひと・しごと創生法案」と、活性化に取り組み地方自治体を国が一体的に支援する「地方再生法の一部を改正する法律案」の2法案が可決・成立したことを受けて、施行されます。

この取組は、世界に先駆けて人口減少・超高齢化社会を迎える日本で、地方創生を成し遂げることでこれらの問題に対応することが目的です。政府も「いつの時代も日本を変えてきたのは、地方であり、地方を創生することで、活力のある日本社会を実現しよう」としています。

これまでの国の制度では、国の示す指針に沿って事業に取り組めば補助金等が交付されてきましたが、地方創生事業では地方が自ら考え、責任を持って取り組むことが前提となっています。自治体には、地域の特性を踏まえた地方版の人口ビジョンと総合戦略の策定が義務づけられています。

今回の事業の交付金には、プレミアム付き商品券の発行や低所得者向けの冬場の灯油代補助などを想定した「地域消費喚起・生活支援型(2500億円)」と安定した雇用創出など地方活性化を促す「地方創生先行型(4200億円)」があり、各自自治体が地域の実情に合った施策を選べる仕組みになっています。

地方の自立が求められる今、これまで以上に市民の皆さんと一緒に知恵を出し、汗を流し、日田市を創り上げなければならないと思っています。



広報ひたは、資源保護のため古紙再生紙と植物油インキを使用しています。